

入場無料 

日時

2013年9月21日(土)

10:30~12:00 (鈴風祭1日目 受付開始10:00)

場所

長野県看護大学 大講義室

(教育研究棟 3階)

講師

今井 家子 教授

(長野県看護大学基礎看護学講座)

《講演内容》

2011年3月の東日本大震災以降「日本は地震国だ」とだれもが感じているのではないのでしょうか。ここ駒ヶ根は東南海地震では震度6弱の地震になると想定されています。災害の被害を少しでも少なくする「減災」という考え方が多くなってきました。自助・共助・公助という言葉があります。まずは、自分が助かり、生き残った近隣の人たちと助け合う。そして行政が動き出すという考え方です。阪神・淡路大震災の時に病院に運ばれた多くの方は、近隣の人たちに助けられたのです。大きな災害が起きると行政の機能はマヒします。そして行政の職員も被災者なのです。行政が動き始めるまでにまずは自分が助かり、近所の方々と協力していくことが災害の被害を小さくできるのです。備えあれば憂いなし。自分や家族の命を守るためにどのような備えがあれば良いのか考え、実行する機会にしていいただければと思います。

対象： 一般、看護専門職、医療・福祉関係の方々

定員： 200人(定員に達していない場合は当日でもご参加いただけます)

申込期限： 9月18日(水)

申込方法： 参加を希望される方は、氏名・電話番号を記入の上、
はがき・電話・FAX・電子メールにてお申し込み下さい。

◆ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ又は公共交通機関をご利用下さい。

【申込・問い合わせ先】

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694番地 長野県看護大学 事務局総務課
TEL 0265-81-5100 FAX 0265-81-1256
E-Mail somuka@nagano-nurs.ac.jp

自分の命は自分で守ろう…減災の勧め

長野県看護大学 平成二十五年度 第一回公開講座